

2025年
3月号



青年の学びと居場所作りを終えて

今年度は豊中ゆめ基金の助成をいただき、「ココでトモダチ作ろう」と題して、昨年11月から3月まで5回青年の学びと居場所作りとして活動を行いました。14名参加のうち、5名は今までの性教育のリーダーです。この活動が必要だと思ったきっかけは、毎回性教育が終わってから「どうせ家帰るだけやし…」と帰らず、物足りなく友達や私たち支援者と話をしている青年がいたからです。

障がいや生きにくさのある青年たちは、休日になるとヘルパーさんや保護者と余暇を過ごしています。中には1人で自転車に乗って出かけたり、スポーツチームの試合に行く人もいます。しかし、ほとんどの青年が休日を仲間や友達と過ごす事はありません。そこで、今年度は学びと青年たちの仲間づくりの場として活動しました。10時から14時までの4時間を午前中は法教育や性教育、午後からは昼食のメニュー決めから買い物、調理を楽しみました。また、3回目はお出かけ回として、カラオケとボウリングに分かれて出かけました。

法教育では買い物（売買契約）はお互いの了承のもと売買が発生する事をわかりやすく説明しました。売買契約は一方的にやめられない事、買物のどの時点で契約が成立するか（対面の買物だけでなく、電話やインターネットでの購入も含む）や、高額な買物や無理にさせられた契約はやめることができる事、自分のお給料（収入）と買物をする金額（支出）を合わせる事などを伝えました。収支と収入を合わせるのに苦労する青年や、毎月お給料を全額すぐに使ってしまった、自分のお給料がどれだけあって、毎月どれだけ使えるか？も知らない青年がほとんどでした。

性教育では、女性と男性のからだやジェンダーの話、青年からのリクエストでデートDVも行いました。からだの話では、男性の青年たちが女性のからだより男性のからだの話に、前のめりになって聞いているのが印象的でした。それくらい、自分のからだについてほとんど知らないのだと驚きました。本来なら学校教育中に丁寧に学ぶべき内容ですが、学び（育ち）がゆっくりな青年たちだからこそ、卒業後もこのような学びの場が必要なのだと思います。

続いて昼食作りです。メニュー決めでは食べたいメニューがどんどん挙がりますが、「どうやって作るの？」と聞くと黙り込む青年たち。最終「カップラーメン」と言う青年もいました。自分たちで作ることが少ないので、作る工程や材料など気にしたことがないようでした。少しアドバイスしながら2回目はクリスマスケーキ作り、3回目は焼きそば、4回目はおにぎり（唐揚げは買ってきました）、5回目はオムそばとクレープを作りました。

まとめのアンケートでは、学びの時間より友達とワイワイ言いながら昼食を作ったことが楽しかった、友達とラインを交換して嬉しかったとありました。ごくあたり前の事なのですが、高校卒業後の障害のある青年たちが仲間と余暇を過ごすことが難しく、余暇の充実には保護者、支援者頼みになってしまいます。青年たちだけで出かけた時に何か事件に巻き込まれたら、迷惑をかけたらと悩む保護者や支援者の気持ちもわかりますが、障がいがあっても生活を豊かに過ごす権利はありますし、育ちがゆっくりだからこそ、小さな失敗を重ねながら生活経験を積み重ねていく事が必要なのではないかと強く感じました。この取り組みは今後も続けていこうと思っています。 郡 奈美



防災カフェを開催しました！

2月25日（火）に防災カフェを開催しました。まずは昨年1月、能登半島地震の防災直後の写真や動画のスライドショーから始まりました。講師の水上が昨年3月に現地で撮影してきた物で、とてもリアルな解説付きでした。次は簡易トイレを組み立てたり実際に座ってみたりなど、発災時のトイレ事情を共有しました。市販の凝固剤は割高ですが、ペットシートなどを工夫することでコストを抑えた簡易トイレの紹介もありました。最後は防災食の調理と実食会。「じゃがりこポテトサラダ」「鯖とわかめの胡麻和え」「アイラップで炊く無洗米」「パンケーキ」を作りました。参加者アンケートからは、「どれも簡単かつ美味しかった」の回答が一番多く、『早速家で子どもに食べさせてみます』とありました。

年々防災意識も高まり様々な備蓄をしている家庭も増えてきていると思いますが、今回の話を聞いて改めて自宅にある防災グッズを見直す良い機会になったのではないかと感じました。



土曜日クラス

アウトドア



今年度もハイキングに野外料理、畑で野菜を作ったり収穫したりと色々な活動を行ってきました。今年度でアウトドアクラスは一旦おしまいになります。ということで年間の振り返りの時に4年間の写真や動画をスライドショーにして、鑑賞会をしました。「こんなことあったね～」「いっぱい芋とれたな～」「食べてばっかりやん～」など笑いながら何をしてきたかを振り返りました。その後に4年間で楽しかったことや頑張ったことを発表してもらいました。子どもたちからは「最初は火が怖くて近寄れなかったけど、今は1人でマッチを擦り火を付けられるようになった」「川遊びが楽しかった」「ピザ美味しかった」「この4年間で一番の事件はパンツをはいたまま水着を着て川に入ってしまったこと」など、できるようになった事や楽しかったことはもちろん、自分自身が挑戦しその時の気持ちを振り返っていることや、自分の失敗にイライラして怒っていた子がみんなの前で笑い話として発表しているそんな姿を見て成長を感じました。周りを気にしすぎず自分のペースで活動してきた子どもたち。楽しそう、おもしろそう、すごいな～と感じると自分からやってみようとする姿。周りを見て手伝おうとする姿。普段だと子どもたちに注意する場面も大目に見られる大人。部屋の中で活動するのは違い、開放感ある自然の中で活動するからこそ気持ちにゆとりができ、子どもも大人も様々なチャレンジができたのだと思います。

毎回アウトドアの準備を手伝い温かく送り出してくださった保護者の皆さま、そして4年間行くたびに「おはよう！」と笑顔で迎え入れたくさんの体験をさせてくださった安穏農園のみなさん、ありがとうございました。

～評価表についてのお知らせ～

HPのトップページ下からも評価表を見ることができます

この度は評価表の回答にご協力いただきありがとうございました。結果を当法人ホームページに掲載しております。結果については法人内で話し合い、今後できる所は改善していきます。内容等も詳しく書いておりますので、是非ご一読ください。



おねがい

4月からの送迎ルートと送迎時間変更について

- ・4月から曜日ごとの利用者様の変更に伴い送迎ルートも変更になります。
- ・ご自宅へのお送り時間・お迎え時間とも、これまでと変わる可能性がありますのでご協力よろしくお願い致します。